

県民の森の植物 No.88

コヨウラクツツジ

(ツツジ科 ツツジ属)

県民の森には様々なツツジの仲間が植栽されています。大型の鮮やかな朱色の花を咲かせるレンゲツツジは新緑の季節の風物詩となっていますが、一方で小さな可愛いツツジの花もひっそりと咲いています。その名はコヨウラクツツジ。「小瓔珞躑躅」と書きます。花が小さくて、仏像が身につけている装身具「瓔珞（ようらく）」に似ていることが名の由来。赤褐色の下垂る小さな花はゆがんだつぼ型で先端が反り返っています。葉と花は一緒に芽吹いて、葉が開くと同時に花も開きます。葉は枝先に集まってつき、輪生しているように見えます。実は球形で直立します。秋に茶色く熟して乾くと、皮が裂けて種子を飛ばします。園内では植栽の他に、標高を上げると自生している本種に出会うことができます。コヨウラクツツジの花に出会うと胸がときめいて幸せな気持ちになります。県民の森のなかでいちばん愛らしいツツジです。



2024/5/1 花



2023/7/13 若い実



2021/11/09 散開した実